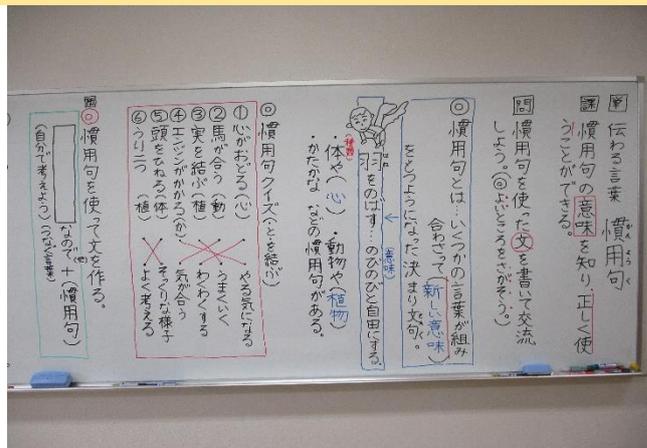


# 栄小研究部通信

## 提案授業:国語科【きらら4の1 吉藤先生】～振り返り～

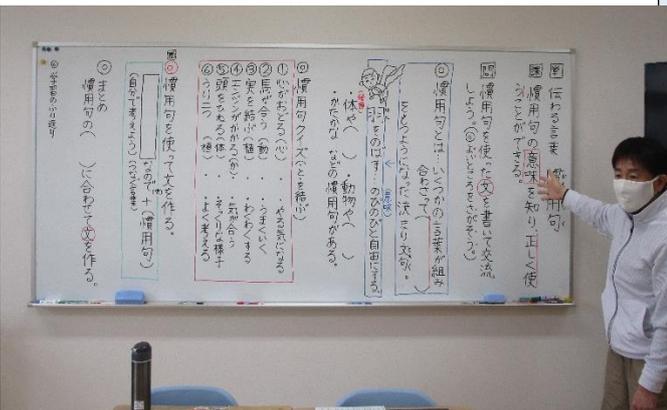
### 1 授業参観シートより先生たちの声 「1. 評価基準の設定について」

- ・子どもたちが自分なりに文章を考えることができている、評価基準を達成することができていたと思います。
- ・子どもたち一人ひとりが自分なりに文章を考えて発表することができており良かったと思います。
- ・「判断力」を評価する基準があって、「その視点は大切だな。」と思いました。



### 2 授業参観シートより 「2. 思考力・判断力・表現力を育むICTの活用について」

- ・板書をあらかじめ書いておき、板書をプリントでまとめておいたことにより子どもたちは慣用句を使った文をじっくり考えることができたと思います。
- ・自分で考えた文をジャムボードに入力することは子どもにとってすぐにできることであり、何度も書き直すことができるので自分の考えを深めるという点でジャムボードの活用は有効的であった。



- ・本日のメイン(慣用句)の文を事前に板書にしていたので子どもたちが迷うことなく授業を受けることができていたと感じた。
- ・ジャムボードに文を打ち込む際に、自分の考えを吟味して、何度も書き直してたので、じっくり考えることができていたと感じた。
- ・ジャムボードを使うことで友だちの考えを見て考えを深めることができていた。このように友だちの考えを参考にできるところがICTの良さだと思った。

### 3 授業参観シートより「3. 振り返りでアウトプットする方法の工夫について」

- ・穴埋め方式で本時のまとめを行ったことにより、特に慣用句の「意味」に合わせて文を作ることを再度確認することができてよかったと思います。
- ・線で結んで慣用句とその意味について確認した後、実際に例文を発表することで子どもたちもどの場面でのように使ったらよいのかということを理解することができたと思う。また、まとめを行う際に穴埋めにすることで子どもたちも「意味」ということを意識することができたと思います。
- ・自分の作品ではなく友だちの良さを書くという視点がとても参考になりました。相手意識、他者意識が育まれる良い取組だったと思いました。



### 4 授業参観シートより先生たちの声「4. その他」

- ・友達の作った文に対する感想をまとめることにより、他の人の文章に対して「～は考える時に焦らないでゆっくり考えるところがかっこいいと思った」という感想を書くなど、自分が考えた慣用句以外についても理解を深めていて、とても良いと思いました。
- ・慣用句で文章を作る際に子どもたちの名前を出して例文に取り組みのがよいと感じた。普段例文を作るとき自分視点で書くことが少ないが、「～は～先生と馬が合う。」というような文章を作ることで、「本当に馬が合うのかな～」という疑問から学習に対する意欲を向上させることができるのではないかなと感じました。
- ・国語科の基礎基本を押さえた上でICTを活用し、「思・判・表」に焦点化した授業展開で勉強になりました。



○吉藤先生の授業から、ジャムボードを活用することで友達の考えを参考に自分の考えを書くことができるということが分かりました。お忙しい中、貴重な授業公開ありがとうございました。

○先生方には、お忙しい中、授業参観の時間を作っていただいております。ありがとうございます。参観シートの記入のご協力にも感謝しております。